



ありがとう坂野中学校

教職員 桂 由美

坂野中学校勤務は通算 11 年。ありがたいことに、あちらこちらで「先生」と声をかけられるようになりました。感じることは「見守っていただいている。」ということ。大人になった卒業生からは「なんで中学校の 3 年間であんなに激しいんだろうね。」という言葉もいただきます。

海と田畑と街があって自然の豊かな坂野校区が私は大好きです。何かがあった時、遅くにお邪魔しても快く迎えてくれる保護者の皆さんや、「昨日も遅うまで電気ついとったなあ。」と労ってくださるご近所の方々の優しさに感謝しながら、1 日を終えたり始めたりの毎日でした。子どもたちも、自分たちが学校生活を送っている環境を「古い」と疑うことなく精一杯活動しています。その素直さが大好きです。

勤務何年目だったでしょうか、ある時、和田島からの帰り道にふと坂野方面に目をやると、雨風に耐えた校舎の北壁が目飛び込んできました。オレンジ色の壁ですが、驚くほどの傷み具合に、言葉も出ないほど驚いたのを覚えています。そのような環境の中で身につけた技は、ペンキ塗りやガラスの嵌め方、そしてガムテープの多彩な使い方・・・etc. など。イナゴやコウモリとも仲良くなり、蛇やムカデにも驚かなくなりました。正に『生きる力』を私に与えたくれた坂野中学校。新中学校の新しい校舎は大変魅力的ですが、何だかとても寂しくなるのは、坂野中学校からもらった「優しさ」故でしょうか。

ところで、坂野中学校の数ある掲示板の 1 つに、「頑張る先輩」というコーナーがあります。卒業生の皆さんの活動や頑張りを、新聞などで目にしたときに掲示しています。現在高校生の皆さんから 40 代・50 代の方々まで多彩ですが、新聞を見ながら「坂野中学校卒業生」とわかればとても嬉しくなり職員室の会話も弾んできます。最近見つけた卒業生は、県高等学校駅伝大会優勝校の監督さんでした。中学校時代は野球部で活躍し、高校入学時に陸上競技に取り組みされた方でした。他にも、中学校時代は文化部で高校生になり初めて運動に取り組んだという人もいました。その先輩たちの歩んだ足跡に思いを馳せると、映画のようなシーンが目浮かびます。中学生時代は可能性の宝庫だと常々思っていますが、坂野中学校は閉校になっても、「坂野中学校卒業生」の歴史は永遠に続きます。「頑張る先輩」はライフワークのように私の老後の楽しみになりそうです。

ありがとうございます。お世話になりました。